

平成7年5月10日第3種郵便物承認 令和7年7月20日発行(毎月20日25日30日発行) O D A 通巻 第1632号

ODA

はっこう しゃかいふくしほうじん おきなわけんしんたいしょうがいしやふくしきょうかい へんしゅう ほくぶじりつせいかつせんたー きらら
発行: 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会 / 編集: 北部自立生活センター 希輝々
おきなわけんなごしおのみなみ はんか えん かいひ ふく
〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1 / 頒価100円 (会費に含む)
TEL/FAX:0980-54-1559 e-mail:kirara20030501@yahoo.co.jp



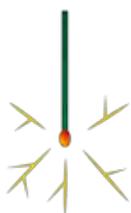
ほくぶじりつせいかつせんたー きらら
北部自立生活センター 希輝々

やんばらあ~ねっと

2025年7月60号



夏まつり



もくじ

やんばらぁ~ねっと 第60号

- ピ-
P 2 もくじ
- ピ-
P 3～P 4 いべんとあんない
イベント案内
- ピ-
P 5～P 7 だいかいふらくかいほう じんけんにしにほんかきこうざ
第50回部落解放・人権西日本夏期講座
- ピ-
P 8～P 9 おきなわけんじりつせいかつせんたごうどうぞうかい
沖縄県自立生活センター合同総会
- ピ-
P 10 だすきんあじあたいへいようしょうがいしゃりーだーいくせいじぎょう
ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業
- せいかはっぴょうかい しゅうりょうしき
P 11 じりつせいかつぱーと
ふーぶーの自立生活PART4
- ピ-
P 12 すたつふ きうらしょざいちあんない
スタッフのひとりごと／希輝々の所在地案内／
せいかいいん さんじょかいいん にゅうかい
正会員、賛助会員の入会について



だいがい 第18回

ふいーるどとりっぷふあいえるび

フィールド・トリップ! LP

みなさま いかがお過ごしでしょうか?

各地では梅雨入りや、暑さが増してくる夏日和になってくると思いますが、超~



ビッグイベントを

下記の日時で開催しま~す!

BBQ、海水浴、稚魚の放流、スイカ割り、

チャーピングなど…沖縄の海をみんなで

満喫しましょう! どなたでも参加できますので

お説明の上お申し込みください。(*^▽^*)

日 時 : 8月30日 10:00~15:00

場 所 : 名護市幸喜ビーチ

参加費 : 1,500円(食費)※16才以下は無料

主 催 : 北部自立生活センター希望々

共 催 : ダスキン沖縄エリア企業集団

協 力 : 沖縄県栽培漁業センター、福祉関係機関

QRコードより申し込み下さい。締め切り 8月20日(水)

※ご不明な点がございましたら、お気軽に担当者までお尋ねください。

北部自立生活センター希望々

〒905-0015 沖縄県名護市大字48-32 (1階)

Tel/Fax: 0980-54-1559 担当者: 新垣・在田・福地



だい かい 第18回 フィールドトリップI L P 参加申込書

しめきりび 締切日：8月20日（水）

ふりがな			
しめい 氏名	せいべつ 性別 男・女		
じょうがいめい 障害名	ねんれい 年齢 () 歳		
そうぐ 装具	なし 無	あり 有り→()	
じゅうしょ 住所	〒 -		
せいねんがっぴ 生年月日			
でんわばんごう 電話番号			
きんきゅうれんらくさき 緊急連絡先	でんわ TEL :	しめい 氏名:	ぞくがら 続柄:
ふりがな	せいべつ 性別 男・女		
かいじょしゃ しめい 介助者 氏名	ねんれい 年齢 () 歳		
ふりがな	せいべつ 性別 男・女		
かいじょしゃ しめい 介助者 氏名	ねんれい 年齢 () 歳		
かいすいよく きぼう 海水浴の希望に○を付けて下さい。	する・しない		
た ひつよう きぼう こ と ごうりてきはいりょ もゅういじこう ようぼうとう その他、必要なサポート(合理的配慮) 注意事項・要望等がありましたらご自由にお書きください。			

ほくぶじりつせいかつせんたー きらら
北部自立生活センター希輝々

なごしおおみなみ
名護市大南4-8-32 1F

TEL/fax : 0980-54-1559

だい かい ぶらくかいほう じんけんにしにほんかきこうざさんか 第50回 部落解放・人権西日本夏期講座に参加して

かいさい ねんがつ にち にち
開催2025年6月12日・13日

差別のない社会の実現をめざして、「第50回 部落解放・人権西日本夏期講座」が開催されました。会場は那覇市内のA・B・Cの3会場に分かれて行われ、私はC会場の沖縄県青年会館(沖縄県那覇市)に参加しました。今回、私はこの意義ある講座にスタッフとして参加する機会をいただき、さまざまな気づきと学びを得ることができました。会場には、全国各地から多様な背景を持つ参加者が集い、差別の根本的な構造を見つめ直し、人権が真に尊重される社会のあり方について考えを深める、非常に意義深い二日間となりました。



1日目では、セルフドキュメンタリー制作者の大田あきのさんから、自身が「アメラジアン」として生まれた背景や、沖縄における米軍基地の影響を描いた映像とお話を通して、沖縄の現状を知ることができました。国の境界線によって生まれる分断や、アイデンティティに揺れる若者たちの苦悩は、単なる“個人の問題”ではなく、歴史や構造的な差別と深く結びついていることを痛感しました。

続いて、琉球大学の森川恭剛教授の講演では、沖縄におけるハンセン病政策の歴史的経緯について学びました。本土とは異なる道をたどった政策の裏にある「隔離」の論理や、それが患者や家族に及ぼした深刻な影響が、今も地域社会に影を落としていることに胸が痛みました。

2日目の分科会では、ハンセン病、障害者、L G B T Q 、部落問題など、テーマをもとに、差別禁止法の必要性について考えました。亀濱さんはじめとする登壇者の皆さんとの話から、それぞれの立場で現場に根差し、差別と闘い、尊厳を守るための実践を積み重ねていることを知り、深く胸を打たされました。

特に印象に残ったのは、ハンセン病回復の方々が今なお心に深い傷を抱えておられるという事実です。隔離政策によって人権を深く傷つけられた経験が、単なる過去の出来事ではなく、今なお癒えない痛みとして残り続けていることに強く心を動かされました。制度的な差別が、どれほど人の尊厳を踏みにじり、人生を分断するのか。その重みを改めて知り、目をそらしてはいけないと強く感じました。

また、「差別をなくすためには、思いやりや道徳ではなく、法の力が必要である」というメッセージにも強く共感しました。憲法に明記されている「差別されない権利」が、現在の社会も、放置されている現実に向かいながら、私たちはより具体的な制度やアメリカにある A D A 法の整備を求めていく責任があると痛感しました。

あと一点、竹葉梓さんがお話をされた内容には、L G B T Q の人権の多様性の視点が、非常に重みがありました。



まず、性自認・性的指向に基づく差別の両方を当事者として経験されていることから、その語りには「つながりの深さ」と「説得力」がありました。自らのルーツへの誇りを失わず、それでいて性的少数者としての自分を「隠さず・偽らず」に生きる姿勢。その強さと覚悟には心が動かされました。

また、「他者との共生」について触れられた点も印象的でした。部落解放運動とL G B T Q 運動の双方が目指す「社会における包摂」や「自分と違う人を排除しない姿勢」。そのビジョンに、自分も共鳴しました。



私自身も、自分が関わるコミュニティの中で、「どのような言動が差別を生み出すのか」「どのような言動が支えになるのか」について、改めて深く考えさせられました。

この講座で得た気づきや学びを、今後の障害者運動の実践に生かしていきたいと思います。

差別のない、すべての人が尊重される社会をめざして、行動していきたいです。

報告 M.A

沖縄県自立生活センター 合同総会 報告(2025年6月20日開催)

2025年6月20日、沖縄県内にある4つの自立生活センター イルカ、希輝々、マンタ、南十字星が一堂に会し、毎年恒例の合同総会をイルカ事務所にて開催しました。

この総会では、各センターがこの1年に取り組んできた活動の報告や、見えてきた課題、これから的发展などが熱心に語られました。学校との連携やピアカウンセリング、相談支援のあり方、支援者としての心構えなど、どの報告にも真摯な思いが込められており、参加者は多くの学びと共感を得る時間となりました。

また、「社会と関わることの楽しさ」についても多く語られ、各センターが日々の中で利用者や地域と共に喜びを育みながら進んでいる姿が、あたたかく伝わってきました。

そして今回の総会では、イルカの代表を長年務められてきた鈴子さんが任期満了によりご退任されるという節目の場ともなりました。

総会の最後には、各センターの代表から、鈴子さんへこれまでのご尽力への感謝と敬意の言葉が贈られ、会場全体があたたかな思いに包まれました。



沖縄に自立生活センターが根づき、4つの団体が今こうして肩を並べて歩んでいけるのは、鈴子さんが誰よりも先に、自らの体験をもとに道を切り拓き、「障害があっても地域で当たり前に生きること」の意味を体現してくださったからだと思います。

とき きび 時には厳しく、しかしいつもまっすぐに、私たち一人ひとりに向き合ってくださったその姿勢があつたからこそ、ここまでやってこれました。

れいこ ことば こうどう いま わたし せなか お つづ
鈴子さんの言葉や行動が、今も私たちの背中を押し続けてくれています。

れいこ かんしゃ そんざい わたし
鈴子さんは、感謝してもしきれない存在であり、私たちのほこりです。そして、これからもなお、頼りにさせていただきたい、そんな変わらぬ思いを胸に抱いています。

こうりゅうかい かくせんたー も よ た もの かこ
交流会では、各センターが持ち寄った食べ物を囲みながら笑顔が飛び交い、和やかなひと時となりました。

みやこじま しーあいえるまんた も
宮古島のCILマンタが持ってきていた、まるそうのうず
さんど うずま ぱん しやりしやり くりーむ
まきサンド(渦巻きパン)シャリシャリとしたクリームは、
めちゃめちゃうまかったです((笑))!!

ごうどうそうかい あらた せんたー かつどう
この合同総会は、改めてそれぞれのセンターの活動へ
りかい ふか れんけい ふか あ きちょうど じかん ちいき
の理解を深め、連携を深め合う貴重な時間となり、地域
ねざ いっぽ ふ だ
に根差したさらなる一步を踏み出すきっかけともなりました。



れいこ かんしゃ
鈴子さんが、みんなへの感謝そして
こんご もくひょう はな
今後の目標について話しをしている
よす様子。



かくしょ だいひょう れいこ
各支所の代表から鈴子さんへ
かんしゃ めっせーじ
感謝のメッセージ。

ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成事業成果発表会 & 修了式

さがつにちかようびじりつけいかつかせんたーいるかなまいっしょおおさかだすきんほんしゃかい
去了、6月24日(火曜日)自立生活センターイルカの仲間と一緒に大阪のダスキン本社で開
催されたダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業、第24期生の成果発表会・
修了式に参加しました。

こんかいもんごるばんぐらでしゅたいわんねぱーるかこくけんしゅうせいせいかはっぴょうき
今回は、モンゴル・バングラデシュ・台湾・ネパール4ヶ国の研修生の成果発表を聞くこと
ができました。特に印象的だったのは、ネパールからの研修生ラクシミさんの希輝々とイルカ
での研修期間の話でした。一緒にネパールと日本の制度について意見交換をおこなったり、
海水浴や観光施設のバリアフリー・チェックに出かけたときのことを分かりやすく発表していた



ほんけんしゅうじゅうじつ
での、日本での研修が充実していました。
ひさらくしみあうれ
久しぶりにラクシミさんに会うことができて嬉しかったです。(#^.^#)
さいごこんかいけんしゅうまなくにちいきかつどうい
最後になりますが、今回の研修で学んだことをそれぞれの国や地域の活動に活かして
しょうがいしゃりーだーがんばふあいと
障害者リーダーとして頑張ってほしいです。ファイト！

ばい
b y ふーぶ

ふーぶーの自立生活PART4

こんかい ぼく ひび せいかつ いろいろ すとれすた とき はっさんほうほう しょうかい
今回は、僕が日々の生活のなかで色々とストレスが溜まった時の発散方法を紹介します。

① プロレス観戦 (スターダム・新日本プロレス・マリーゴールド・全日本プロレスなど)

さいきん しにほん ぶろれす おりんぴっくじゅうどうきんめだりすと うるふ あろん
最近では、新日本プロレスにオリンピック柔道金メダリストのウルフ・アロン
せんしゆ にゅうだん
選手が入団。

らいねん とうきょうど一むたいかい でびゅー びつぐにゅーす
来年の1・4 東京ドーム大会でデビューというビッグニュースがありました。
こじんてき うるふせんしゆ れすらー ゆにつと
個人的に、これからウルフ選手がどんなレスラーになっていくのか？ユニット
かにゅう に加入する

ゆにつと ちゅうもく
ならどのユニットになるのか注目してみていきます。

② 自分の好きな歌手の音楽を聴く

① Vaundy 走れSAKAMOTO、再会、ホムンクルス

② 藤井 風 何なん、旅路、きらり、満ちてゆく

③ MY FIRST STORY 東京ミッドナイト、アクマ、夢幻

④ SEKAINOOWARI 最高到達点、サラバ、Dragon Night バードマン

じょうき きょく まいにちき わら
上記の曲を毎日聴いています(笑)

い きょく ぜひ どき くだ
みんな良い曲なので是非一度聴いてみて下さい。

じりつせいかつぱーと たの
ふーぶーの自立生活PART5をお楽しみに(#^.^#)またね！

編集後記：すたっぷのひとりごと

こんにちは。介助者の悟です。

海や山が恋しい季節になりましたね。

皆様はいかがお過ごでしょうか。

先日庭の花壇にミニひまわりを育ててみました!高さが1メートルを超えないかわいらしい品種です。

しかし、育てたのもつかの間、水やりを忘れ2週間で花を枯らしてしまったのです。

失敗にめげずにまた花を育ててみたいと思っています。



北部自立生活センター 希輝々の所在地案内

〒 905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32(1階)
TEL/FAX 0980-54-1559
E-mail Kirara20030501@yahoo.co.jp

CIL希輝々では、正会員及び賛助会員の積極的な参加を募っています。

当会活動のさらなる行動範囲を広げるためにも、ぜひとも当会の趣旨にご

賛同いただき、ご協力をお願ひいたします。

正会員 新規会員 入会金2,000円(入会時のみ) + 年会費3,000円

= 計5,000円

既会員 3,000円(年会費のみ)

賛助会員 個人 一口5,000円
団体 大口10,000円

寄付金は随時受け付けております。

皆様の温かいお志とご協力をお願ひいたします。

●振込先 沖縄海邦銀行 名護支店 店番 060(普通預金) 0621092

●名義 北部自立生活センター希輝々

